2026 年 7 月 16 日　ver.1.1

研究課題名	**外傷性頚部症候群の慢性化リスク予測： 受傷時頚椎 X 線画像を用いた Deep Learning アルゴリズムの開発**
研究の意義・目的	外傷性頚部症候群（WAD：むち打ち症）は交通事故により頚部に外傷を受けた際に起こるもので、一定の割合で慢性化することが知られています。本研究は、交通事故直後に撮影された頚椎 X 線画像を用い、AI（人工知能）技術を活用して、慢性疼痛に移行するリスクを予測するモデルの開発を目的としています。 これにより、早期からリスクの高い患者を識別し、適切な治療や介入を行うことで、慢性化の予防と医療の質の向上を図ることが期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日　～　2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2010 年 4 月～2025 年 3 月の間に大阪公立大学医学部附属病院、ならびに共同研究機関の整形外科を受診し、外傷性頚部症候群と診断され、受傷直後に頚椎 X 線（側面像）を撮影された方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせていただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴 身体所見：身長、体重、頚椎可動域（前屈・後屈）、頚部痛の有無・程度、圧痛点の有無、神経学的所見（筋力、知覚） 頚椎 X 線側面像 交通事故情報：衝突速度・衝突方向（前方・後方・側方）、安全装備（シートベルト）の使用状況、事故時の位置（運転席、助手席、後部座席：医療記録上記載された範囲内）
試料・情報の 提供を行う機関の名称及びその長の氏名 （提供元について）	機関名：大東中央病院 機関の長の氏名：梶山　雄司 機関名：辻外科リハビリテーション病院 機関の長の氏名：辻　卓司 機関名：淀川キリスト教病院 機関の長の氏名：藤原　寛 機関名：和泉市立総合医療センター 機関の長の氏名：松下　晴彦
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に係る研究責任者	研究代表者：大阪公立大学病院　整形外科　玉井　孝司

試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学玉井 孝司 【共同研究機関・研究責任者】 淀川キリスト教病院【研究責任者】所属:整形外科　氏名:堂園　将 大東中央病院【研究責任者】所属:整形外科　氏名:吉中 康高 辻外科リハビリテーション病院【研究責任者】所属:整形外科　氏名:中土 保 和泉市立総合医療センター【研究責任者】所属:整形外科　氏名:森田 雅博
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 今回の研究は国立研究開発法人科学技術振興機構からの研究費を受け実施します。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　整形外科 担当者氏名:玉井 孝司、谷脇 浩志 電話番号:(06)6645―3851